



「すずらん号休日運行」のご提案をお寄せくださった

村上信子さん

すずらん号に乗るといつも「ありがたいね」と、みんなで話します。休日運行はすぐには無理みたいだけど、グリーンフェアやフリーマーケットにはぜひ、行ってみたいですね。イベントのある日に運行してもらえたら、こんなにありがたいことはありません。

合いの中で、土・日運行についても話題になりました。早急に実施とはいかないものの、今後の重要課題であることを確認し、研究する段階です。

返答 お手紙のとおり、当町の高齢化率は全国平均に比較しても高く、また数年後に訪れる団塊の世代の1斉退職も目前に控え、高齢者の生きがい対策や生活支援に対する施策もより重要性を

増している状況です。ご紹介いただきました市町村の様子も拝見させていただきました。当町では、行政そのもので必要とする労力で高齢者でも対応できるものについては、「シルバー人材センター」に依頼して、登録会員の方々に作業等を行っていただいております。「高齢者が高齢者を支えるまちづくり」についても、ボランティアの考えによるものと収益を求めるものと両面が考えられますが、ボランティアについては、協等でも取り組んでおります。また、収益を求める場合については、「シルバー人材センター」

返答 昨年3月から富士見町の新交通システムとして運行しております『デマンド交通 すずらん号』も、認知されるに従って利用者が増え、昨年度は1日当たり122人のご利用をいただきました。

先般 運行業者・オペレーター・町（産業課）・関係機関で、すずらん号運行委員会を開催し、安全運行に努め、高齢者・交通弱者のより良い足（すずらん号）として利用いただくための話し

元気な高齢者を活用した町づくりを！

「町長への手紙」も回を重ねるに従って、建設的な提案が多くなりました。お名前があれば、返事を差し上げてきました。このことを通して、より多く、より深く、町の毎日に皆さんで関わることが何より大事なことでと考えます。私たちの知恵と力でより住みよい町につくり上げていく気概がぜひ必要です。書かれた方の顔が自然と浮かんでくるような明るい提案は、前進する町への大きな励みです。皆さんのご提案をお待ちしています。



富士見町長 矢嶋民雄